

11. 埼玉県



1 1. 埼玉県

A. 医療提供体制の現状

埼玉県の特徴は、(1) 全体的な極度の医療資源の不足、(2) 多中心的な医療提供体制、(3) 医療需要増に対応すべき最重要地域の存在である。

(1) 全体的な医療資源の不足

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が 42、一般病床が 41、総医師数が 42 (病院勤務医数 43、診療所医師 41)、総看護師数が 40、全身麻酔数 44 と、県全体の病床数、一般病床、病院勤務医数、看護師数、全身麻酔数の偏差値は全て 45 以下である。日本で最も医療資源が不足した都道府県である。

(2) 多中心的な医療提供体制

秩父を除き、全県的に全身麻酔手術が行われ、県内各地に拠点病院が存在するが、人口 720 万人を支えるには、極度の医療機関不足である。多くの人が、特別区や他の医療圏の医療機関を受診している。

(3) 医療需要増に対応すべき地域の存在

秩父を除き、2010 年→40 年にかけて全ての医療圏で 75 歳以上人口が 70%以上増え、南西部、東部、さいたま、県央、川越比企、西部では 100%を超える。この地域の人口当たりの総病床数の偏差値が 38~50、一般病床数 37~45、病院勤務医数 37~42、全身麻酔数が 39~47、総看護師数が 35~44 と、共通して医療資源が少ない。これらの地域がこれまでこのような少ない医療資源でやってこられたのは、(1)住民が比較的若く、有病率が低かった、(2)多くの人が東京都心で勤務し、病気になった時に東京の医療機関を受診し、地元の医療機関の利用率が他の地域より低かったことによる。

ところが今後、この地域の住民の年齢が上がり、(1)住民の有病率も上がる、(2)多くの人が定年を迎え、これまで東京の医療機関を受診していた人が地元の医療機関を受診するようになり、地元の医療機関の利用率が上がる。更に 75 歳以上の高齢者が激増する時代を迎え、医療も介護も需要が急速に高まる。これらの地域は、医療や介護の需要増にむけて早急に対応すべきである。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(南部)

南部(川口)は、人口約 76 万人、面積 85/km²、人口密度は約 8,870 人/km²の大都市型二次医療圏である。南部には、年間 2,000 件を超える川口市立医療センター(救命救急)、済生会川

口総合病院や年間 1,000 件以上の戸田中央総合病院、埼玉協同病院などがある。

総病床数の偏差値は 38（一般病床 37、療養病床 44、精神病床 43）、総医師数が 40（病院勤務医数 41、診療所医師 41）、総看護師数 37、全身麻酔数 41 と、医療資源が不足した地域である。

更に 2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 99%と後期高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 85%増、医療需要も 26%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

（西南部）

西南部（和光）は、人口約 69 万人、面積 111/km²、人口密度は約 6,220 人/km²の大都市型二次医療圏である。南西部には、年間 1,000 件を超える埼玉病院、朝霞中央総合病院があるが、急性期医療の多くを東京都心へ依存している。

総病床数の偏差値は 39（一般病床 37、療養病床 44、精神病床 45）、総医師数が 36（病院勤務医数 37、診療所医師 36）、総看護師数 35、全身麻酔数 39 と、埼玉県内でも最も医療資源が不足した地域である。

更に 2010→40 年にかけて 75 歳以上の人口が 125%と 75 歳以上の高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 105%増、医療需要も 30%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

（東部）

東部（春日部）は、人口約 112 万人、面積 250/km²、人口密度は約 4,480 人/km²の大都市型二次医療圏である。東部には、年間全身麻酔 3,000 件を超える獨協医科大学越谷病院（救命救急、DPCⅡ群）、年間 2,000 件以上の越谷市立病院、年間 1,000 件以上の草加市立病院、秀和総合病院、春日部中央総合病院などがある。

総病床数の偏差値は 41（一般病床 41、療養病床 45、精神病床 46）、総医師数が 40（病院勤務医数 42、診療所医師 39）、総看護師数 38、全身麻酔数 41 と、医療資源が不足した地域である。

更に 2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 132%と 75 歳以上の高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 105%増、医療需要も 22%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

(さいたま)

さいたまは、人口約 122 万人、面積 217/km²、人口密度は約 5,620 人/km²の大都市型二次医療圏である。さいたまには、年間 3,000 件以上の全身麻酔を行う自治医科大学附属さいたま医療センター (DPCⅡ群)、年間 2,000 件以上のさいたま市立病院、さいたま赤十字病院 (救命救急、DPCⅡ群)、年間 1,000 件以上の埼玉社会保険病院、丸山記念総合病院などがあるが、急性期医療の多くを東京都心へ依存している。

総病床数の偏差値は 38 (一般病床 39、療養病床 43、精神病床 42)、総医師数が 42 (病院勤務医数 42、診療所医師 44)、総看護師数 38、全身麻酔数 45 と、医療資源が不足した地域である。

更に 2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 116%と 75 歳以上の高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 101%増、医療需要も 31%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

(県央)

県央 (上尾) は、人口約 53 万人、面積 173/km²、人口密度は約 3,060 人/km²の大都市型二次医療圏である。県央には、年間全身麻酔 3,000 件を超える上尾中央総合病院や年間 1,000 件以上の北里研究所メディカルセンター病院などがあるが、急性期医療の多くをさいたま市へ依存している。

総病床数の偏差値は 40 (一般病床 39、療養病床 45、精神病床 44)、総医師数が 40 (病院勤務医数 41、診療所医師 42)、総看護師数 41、全身麻酔数 48 と、医療資源が不足した地域である。

更に 2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 114%と 75 歳以上の高齢者を中心とする高齢者が激増する時代を迎え、介護の需要が 92%増、医療需要も 18%増と、医療も介護も需要が急速に高まる。この地域は、まず高齢者向けの医療や介護にかかわる医師と看護師と介護職員などの養成、他の地域からのリクルートなど、あらゆる手を尽くしての人材の確保が不可欠である。医療病床の増床、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

(川越比企)

川越比企は、人口約 80 万人、面積 627/km²、人口密度は約 1,280 人/km²の地方都市型二次医療圏である。川越比企には埼玉医科大学 (1,085 床、全麻 3,000 件以上) があり、秩父などからの患者の受け入れも行っている。また、年間全身麻酔 4,000 件を超える埼玉医科大学総合医療センター (救命救急、DPCⅡ群) や年間 1,000 件以上の赤心堂病院などがある。埼玉県の中では病院勤務医数の多い地域であり、総病床数の偏差値は 49 (一般病床 46、療養病床 49、精神病床 54)、総医師数が 50 (病院勤務医数 53、診療所医師 43)、総看護師数 46、全

身麻酔数 51 と、現在比較的医療の充実した地域といえる。

ただしこの地域も、2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 99%増と激増し、介護の需要が 81%増、医療需要も 15%増と、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まる。医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強などが必要である。

(西部)

西部（所沢）は、人口約 79 万人、面積 406/km²、人口密度は約 1,940 人/km²の地方都市型二次医療圏である。西部には防衛医科大学（800 床、全麻 2,000 件以上、救命救急）があり、年間全身麻酔 4,000 件を超える埼玉医科大学国際医療センター（DPCⅡ群）、年間 1,000 件以上の石心会狭山病院などがあり、川越比企地区の患者も多く受け入れている一方、急性期医療の多くを東京都心へ依存している。

埼玉県の中では病院勤務医数の多い地域であり、総病床数の偏差値は 50（一般病床 45、療養病床 53、精神病床 53）、総医師数が 46（病院勤務医数 49、診療所医師 42）、総看護師数 44、全身麻酔数 47 と、現在比較的病院医療の充実した地域といえる。

ただしこの地域も、2010→40 年にかけて 75 歳以上人口が 116%増と激増し、介護の需要が 95%増、医療需要も 20%増と、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まる。医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強などが必要である。

(利根)

利根（行田）は、人口約 66 万人、面積 474/km²、人口密度は約 1,390 人/km²の地方都市型二次医療圏である。利根には、年間全身麻酔 500 件を超える羽生総合病院、済生会栗橋病院、東埼玉総合病院、行田総合病院などがある。

総病床数の偏差値は 43（一般病床 43、療養病床 43、精神病床 47）、総医師数が 38（病院勤務医数 38、診療所医師 40）、総看護師数 39、全身麻酔数 39 と、埼玉県東部・中部と同程度に、人口当たりの医療資源の少ない地域である。

2010→40 年の 75 歳以上の高齢者の増加率が 83%であり、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まるので、医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが必要である。

(北部)

北部（熊谷）は、人口約 52 万人、面積 562/km²、人口密度は約 930 人/km²の地方都市型二次医療圏である。北部には、年間全身麻酔 1,000 件を超える深谷赤十字病院（救命救急）や年間 500 件以上の熊谷総合病院、埼玉県立循環器・呼吸器病センターなどがある。

総病床数の偏差値は 46（一般病床 42、療養病床 46、精神病床 52）、総医師数が 40（病院勤務医数 39、診療所医師 44）、総看護師数 42、全身麻酔数 38 と、埼玉県東部・中部と同程度に、人口当たりの医療資源の少ない地域である。

2010→40年の75歳以上の高齢者の増加率が64%であり、この地域も、現在の医療や介護の資源ではとても対応しきれないくらい医療も介護も需要が急速に高まるので、医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化などが必要である。

（秩父）

埼玉県西部の山間部に広がる秩父は、人口約 11 万人、面積 893/km²、人口密度は約 120 人/km²の埼玉県唯一の過疎型二次医療圏である。秩父には、秩父市立病院などがあるが、急性期医療は、川越比企や西部に依存している。

総病床数の偏差値は 41（一般病床 38、療養病床 51、精神病床 43）、総医師数が 41（病院勤務医数 36、診療所医師 51）、総看護師数 39、全身麻酔数 36 と、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数も極めて少なく、救急医療や高度医療は、川越・比企への依存度が高い。また診療所による医療の比率の高い地域である。

総医療需要が 18%減であり、特に 0-64 歳の医療需要の減少が大きいため、集約と北部の基幹病院への移送能力の強化を基本に地域の医療機能を維持することが求められる。

表 11-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
埼玉県	7,194,556	5位	3,798	39位	1,894.2		20%	-12%	104%
南部	756,087	11%	85	2%	8,870.1	大都市型	19%	-4%	99%
南西部	689,961	10%	111	3%	6,218.7	大都市型	19%	-5%	125%
東部	1,118,182	16%	250	7%	4,476.5	大都市型	20%	-13%	132%
さいたま	1,222,434	17%	217	6%	5,620.6	大都市型	19%	-4%	116%
県央	529,658	7%	173	5%	3,062.7	大都市型	21%	-14%	114%
川越比企	799,470	11%	627	16%	1,275.7	地方都市型	21%	-16%	99%
西部	788,545	11%	406	11%	1,940.2	地方都市型	21%	-16%	116%
利根	659,459	9%	474	12%	1,391.7	地方都市型	22%	-23%	83%
北部	522,534	7%	562	15%	929.3	地方都市型	22%	-22%	64%
秩父	108,226	2%	893	23%	121.3	過疎型	28%	-35%	10%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 11-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所施設数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
埼玉県	346	4.0%	4.8	45	4,081	4.1%	57	39
南部	29	8%	3.8	43	402	10%	53	37
南西部	29	8%	4.2	44	335	8%	49	35
東部	48	14%	4.3	44	540	13%	48	35
さいたま	39	11%	3.2	41	848	21%	69	46
県央	19	5%	3.6	42	277	7%	52	37
川越比企	49	14%	6.1	49	458	11%	57	39
西部	55	16%	7.0	51	424	10%	54	38
利根	35	10%	5.3	46	340	8%	52	36
北部	34	10%	6.5	49	370	9%	71	46
秩父	9	3%	8.3	54	87	2%	80	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 11-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
埼玉県	62,292	4.0%	866	42	3,795	3.0%	53	46
南部	5,101	8%	675	38	325	9%	43	45
南西部	4,881	8%	707	39	216	6%	31	44
東部	9,087	15%	813	41	566	15%	51	45
さいたま	8,059	13%	659	38	587	15%	48	45
県央	3,901	6%	737	40	366	10%	69	47
川越比企	9,577	15%	1,198	49	400	11%	50	45
西部	9,711	16%	1,232	50	429	11%	54	46
利根	5,787	9%	878	43	369	10%	56	46
北部	5,311	9%	1,016	46	404	11%	77	48
秩父	877	1%	810	41	133	4%	123	52
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 11-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所施設数（再掲）				無床診療所施設数				有床診療所施設数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
埼玉県	4,081	4.1%	57	39	3,757	4.2%	52	41	324	3.3%	4.5	45
南部	402	10%	53	37	372	10%	49	39	30	9%	4.0	44
南西部	335	8%	49	35	314	8%	46	37	21	6%	3.0	43
東部	540	13%	48	35	490	13%	44	36	50	15%	4.5	45
さいたま	848	21%	69	46	791	21%	65	47	57	18%	4.7	45
県央	277	7%	52	37	253	7%	48	38	24	7%	4.5	45
川越比企	458	11%	57	39	418	11%	52	41	40	12%	5.0	46
西部	424	10%	54	38	391	10%	50	39	33	10%	4.2	45
利根	340	8%	52	36	308	8%	47	38	32	10%	4.9	46
北部	370	9%	71	46	343	9%	66	48	27	8%	5.2	46
秩父	87	2%	80	51	77	2%	71	51	10	3%	9.2	52
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 11-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
埼玉県	35,405	4.0%	492	41	12,097	3.7%	168	46	14,559	4.3%	202	47
南部	3,131	9%	414	37	962	8%	127	44	988	7%	131	43
南西部	2,790	8%	404	37	985	8%	143	44	1,106	8%	160	45
東部	5,449	15%	487	41	1,654	14%	148	45	1,984	14%	177	46
さいたま	5,481	15%	448	39	1,355	11%	111	43	1,193	8%	98	42
県央	2,348	7%	443	39	811	7%	153	45	742	5%	140	44
川越比企	4,827	14%	604	46	1,920	16%	240	49	2,820	19%	353	54
西部	4,701	13%	596	45	2,409	20%	305	53	2,591	18%	329	53
利根	3,559	10%	540	43	739	6%	112	43	1,385	10%	210	47
北部	2,662	8%	509	42	965	8%	185	46	1,627	11%	311	52
秩父	457	1%	422	38	297	2%	274	51	123	1%	114	43
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 11-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				全身麻酔件数			
	救急救命センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
埼玉県	6	2.9%	0.8	47	11	2.9%	1.5	46	100,584	3.9%	1,398	44
南部	1	17%	1.3	49	2	18%	2.6	49	8,652	9%	1,144	41
南西部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	6,552	7%	950	39
東部	1	17%	0.9	47	2	18%	1.8	47	13,500	13%	1,207	41
さいたま	1	17%	0.8	47	2	18%	1.6	46	19,260	19%	1,576	45
県央	0	0%	0	43	1	9%	1.9	47	9,912	10%	1,871	48
川越比企	1	17%	1.3	48	2	18%	2.5	49	17,088	17%	2,137	51
西部	1	17%	1.3	49	1	9%	1.3	45	13,884	14%	1,761	47
利根	0	0%	0	43	0	0%	0	42	6,396	6%	970	39
北部	1	17%	1.9	51	1	9%	1.9	47	4,644	5%	889	38
秩父	0	0%	0	43	0	0%	0	42	696	1%	643	36
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 11-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院勤務医数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
埼玉県	12,764	4.0%	177	42	7,840	3.9%	109	43	4,924	4.0%	68	41
南部	1,256	10%	166	40	741	9%	98	41	515	10%	68	41
南西部	880	7%	127	36	519	7%	75	37	360	7%	52	36
東部	1,817	14%	163	40	1,150	15%	103	42	667	14%	60	39
さいたま	2,219	17%	182	42	1,271	16%	104	42	948	19%	78	44
県央	888	7%	168	40	514	7%	97	41	374	8%	71	42
川越比企	1,987	16%	249	50	1,392	18%	174	53	595	12%	74	43
西部	1,727	14%	219	46	1,179	15%	150	49	548	11%	69	42
利根	966	8%	146	38	546	7%	83	38	419	9%	64	40
北部	844	7%	161	40	451	6%	86	39	393	8%	75	44
秩父	182	1%	168	41	76	1%	70	36	106	2%	98	51
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 11-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
埼玉県	38,725	3.7%	538	40	32,374	3.8%	450	40	6,352	3.5%	88	42
南部	3,568	9%	472	37	3,039	9%	402	38	529	8%	70	40
南西部	2,747	7%	398	35	2,336	7%	339	35	411	6%	60	38
東部	5,456	14%	488	38	4,589	14%	410	39	867	14%	78	41
さいたま	6,078	16%	497	38	4,934	15%	404	38	1,143	18%	94	43
県央	3,037	8%	573	41	2,360	7%	446	40	677	11%	128	48
川越比企	5,649	15%	707	46	4,873	15%	610	47	776	12%	97	44
西部	5,077	13%	644	44	4,442	14%	563	45	636	10%	81	41
利根	3,484	9%	528	39	2,886	9%	438	40	598	9%	91	43
北部	3,077	8%	589	42	2,493	8%	477	41	584	9%	112	46
秩父	554	1%	512	39	422	1%	390	38	132	2%	122	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

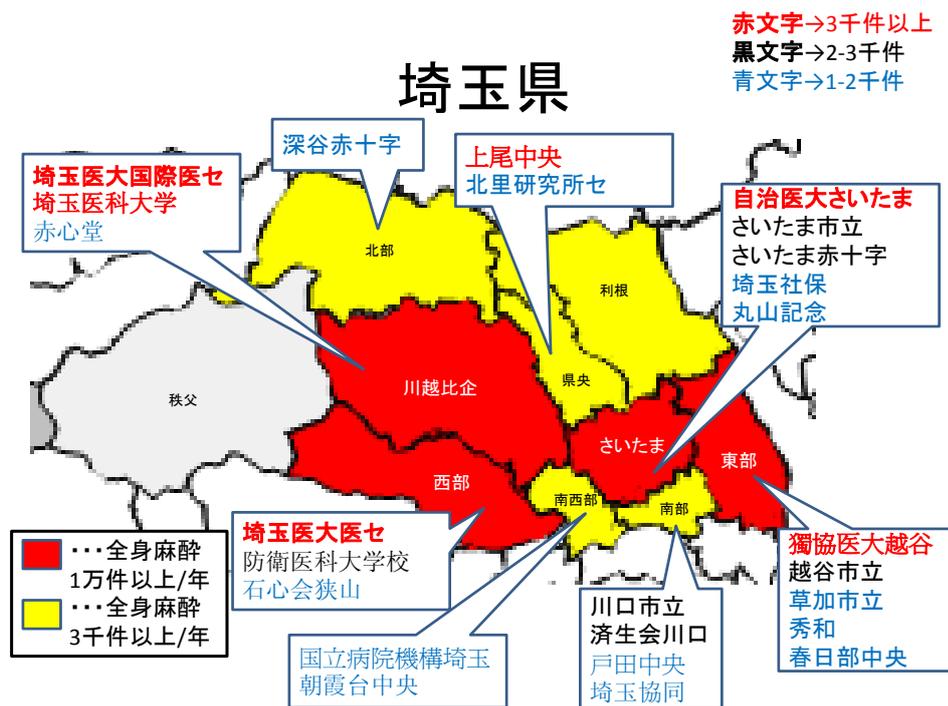
表 11-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数				回復期病床数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
埼玉県	3,929	4.1%	55	45	2,605	4.1%	36	47
南部	300	8%	40	41	179	7%	24	44
南西部	289	7%	42	42	172	7%	25	44
東部	738	19%	66	48	642	25%	57	52
さいたま	422	11%	35	40	339	13%	28	45
県央	290	7%	55	45	182	7%	34	46
川越比企	642	16%	80	51	465	18%	58	52
西部	705	18%	89	54	445	17%	56	51
利根	286	7%	43	42	98	4%	15	42
北部	202	5%	39	41	48	2%	9	41
秩父	55	1%	51	44	35	1%	32	46
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 11-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
埼玉県	460	3.3%	7.8	46	33	4.2%	0.6	50	238	3.5%	4.1	45
南部	45	10%	8.1	47	5	15%	0.9	56	23	10%	4.1	45
南西部	24	5%	4.8	40	4	12%	0.8	54	18	8%	3.6	42
東部	45	10%	5.8	42	5	15%	0.6	51	39	16%	5.1	51
さいたま	148	32%	15.1	60	3	9%	0.3	46	39	16%	4.0	44
県央	33	7%	7.9	46	3	9%	0.7	53	14	6%	3.4	40
川越比企	50	11%	7.4	45	2	6%	0.3	46	23	10%	3.4	41
西部	53	12%	7.9	46	5	15%	0.7	53	36	15%	5.3	53
利根	26	6%	4.3	39	2	6%	0.3	46	23	10%	3.8	43
北部	33	7%	6.2	43	3	9%	0.6	50	18	8%	3.4	41
秩父	3	1%	1.9	35	1	3%	0.6	51	5	2%	3.1	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 11-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 11-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
埼玉県	75,280	4.4%	128	53	42,878	4.6%	73	55	32,402	4.3%	55	51
南部	7,495	10%	135	56	3,725	9%	67	50	3,770	12%	68	57
南西部	6,857	9%	138	57	4,072	9%	82	62	2,785	9%	56	51
東部	9,849	13%	128	53	4,942	12%	64	48	4,907	15%	64	55
さいたま	14,502	19%	148	62	7,026	16%	72	54	7,476	23%	76	61
県央	5,362	7%	129	54	3,662	9%	88	67	1,700	5%	41	44
川越比企	6,396	8%	94	39	4,342	10%	64	48	2,054	6%	30	38
西部	7,709	10%	114	47	5,077	12%	75	57	2,632	8%	39	43
利根	7,041	9%	116	48	4,450	10%	73	55	2,591	8%	43	44
北部	8,341	11%	157	66	4,369	10%	82	63	3,972	12%	75	60
秩父	1,728	2%	108	44	1,213	3%	76	57	515	2%	32	39
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数 の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老 人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数 の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢 者住宅、その他の合計			

表 11-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健 施設(老健) 収容数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
埼玉県	15,682	4.5%	27	53	24,362	4.9%	42	56	2,834	3.3%	4.8	48
南部	1,049	7%	19	40	2,229	9%	40	55	447	16%	8.1	54
南西部	1,900	12%	38	73	2,100	9%	42	57	72	3%	1.4	41
東部	1,924	12%	25	50	2,503	10%	32	47	515	18%	6.7	51
さいたま	2,588	17%	26	53	4,122	17%	42	57	316	11%	3.2	45
県央	1,554	10%	37	71	2,108	9%	51	65	0	0%	0	39
川越比企	1,531	10%	23	46	2,570	11%	38	52	241	9%	3.6	45
西部	1,762	11%	26	52	2,337	10%	35	49	978	35%	14.5	66
利根	1,623	10%	27	53	2,787	11%	46	60	40	1%	0.7	40
北部	1,370	9%	26	52	2,815	12%	53	67	184	6%	3.5	45
秩父	381	2%	24	48	791	3%	49	64	41	1%	2.6	43
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 11-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア
全国	313,116	22.3	(16.7)		171,021	12.2	(5.9)		88,421	6.3	(4.0)	
埼玉県	16,555	28.2	54	5.3%	5,991	10.2	47	3.5%	4,071	6.9	52	4.6%
南部	2,314	41.7	62	14%	722	13.0	51	12%	500	9.0	57	12%
南西部	1,434	28.8	54	9%	455	9.2	45	8%	707	14.2	70	17%
東部	3,127	40.5	61	19%	807	10.5	47	13%	429	5.6	48	11%
さいたま	5,646	57.8	71	34%	781	8.0	43	13%	407	4.2	45	10%
県央	490	11.8	44	3%	456	11.0	48	8%	359	8.6	56	9%
川越比企	439	6.5	41	3%	747	11.0	48	12%	364	5.4	48	9%
西部	910	13.5	45	5%	398	5.9	39	7%	383	5.7	48	9%
利根	920	15.1	46	6%	601	9.9	46	10%	184	3.0	42	5%
北部	1,197	22.6	50	7%	845	15.9	56	14%	727	13.7	69	18%
秩父	78	4.9	40	0%	179	11.2	48	3%	11	0.7	36	0%
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 11-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
埼玉県	5,190,343	4,779,848	4,102,966	91	83	72	969,136	1,235,983	1,198,031	165	211	204
南部	594,232	566,518	499,331	96	92	81	90,032	108,110	110,492	162	195	199
南西部	530,897	504,889	441,785	95	90	79	90,795	111,275	111,817	183	224	225
東部	807,981	748,826	634,310	90	84	71	151,295	193,219	178,751	196	251	232
さいたま	939,155	881,161	773,556	95	89	78	158,353	200,243	211,494	162	205	216
県央	374,503	342,055	290,555	89	82	69	73,955	94,157	88,837	178	227	214
川越比企	552,387	504,078	431,657	88	80	69	110,923	146,114	134,652	164	215	199
西部	544,510	491,716	414,535	88	79	67	115,045	151,444	145,730	171	225	216
利根	434,170	381,312	318,056	84	74	62	91,522	121,715	111,728	150	200	183
北部	349,949	307,900	257,816	86	75	63	70,042	90,620	86,865	132	171	164
秩父	62,559	51,393	41,365	80	66	53	17,174	19,086	17,665	107	119	110
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 11-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要 増減率
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
埼玉県		20%	-28%	104%	87%
南部	大都市型	26%	-19%	99%	85%
南西部	大都市型	30%	-21%	125%	105%
東部	大都市型	22%	-29%	132%	105%
さいたま	大都市型	31%	-22%	116%	101%
県央	大都市型	18%	-31%	114%	92%
川越比企	地方都市型	15%	-31%	99%	81%
西部	地方都市型	20%	-33%	116%	95%
利根	地方都市型	8%	-38%	83%	68%
北部	地方都市型	6%	-37%	64%	54%
秩父	過疎型	-18%	-47%	10%	6%

出典 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月
日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省
平成22年度 国民医療費 厚生労働省

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 11-2 埼玉県 2010年→40年医療介護需要の増減予測

